

3/29 木 福

# 28都府県新規感染増加

## 新型コロナ「第4波」懸念高まる

新型コロナウイルス感染拡大に対応するための緊急事態宣言を政府が全面解除してから「十九日で一週間となった。共同通信の二十

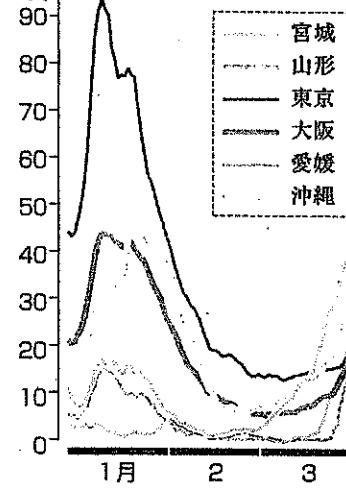
七日までの集計によると、福井など全国二十八都府県で直近一週間の新規感染者数は、宮

がその前の週よりも増加。リバウンド（再拡大）の傾向が鮮明で、流行「第四波」への懸念が高まる。」

順天堂大の堀賢教授（感

染症対策）は「完璧な感染防止策が難しい以上、リバ

主な都府県の感染者数の推移  
[人口10万人当たり、直近1週間の合計。3月27日時点]



過去最多の四十九人となつた。宮城も連日百人超の感染が確認され、宮城と山形は独自の緊急事態宣言を出した。

大阪でも三百人台の感染確認が続き、大阪市内の飲食店への営業時間の短縮要請延長が決まっている。首都圏の一部三県では、新規感染者の前週比が「前後で減少傾向が見られず、下

のそれを経て感染が広がるリスクがある」という。

二十七日までの直近一週間で新規感染者の前週比が一を大きく超えたのは山形、徳島、愛媛、長崎、鹿児島など。山形では二月から三月中旬まで感染者は一

桁台だったが、三月十八日には十一人、二十五日には

止まりの状態が続く。直近一週間の人口十万人当たり新規感染者数は、宮

城、沖縄でステージ4（爆

発的感染拡大）相当の二十

五人以上となり、山形、東

京、大阪でもステージ3（感染急増）相当の十五人以上だった。感染拡大の原

因について堀教授は「対策の緩みや変異株の流行など、地域ごとに異なる点のみ

られる」としている。